



## 硬式野球部出身で元中日ドラゴンズ内野手

### 森越祐人氏がコーチに就任

本学硬式野球部出身で元プロ野球選手の森越祐人（もりこし・ゆうと）氏（32）が3月1日、同部のコーチに就任しました。

森越氏は稲沢市出身。愛知啓成高校時代は2006年春の選抜高校野球大会に出場し、2回戦で、PL学園のエース前田健太投手（大リーグ・ミネソタ・ツインズ）から2本の二塁打を放ち一躍脚光を浴びる選手となりました。

2007年、将来プロ野球選手になることを視野に入れつつ本学に入学。4年生では主将を務め、1部復帰に貢献するとともに、1部復帰後の秋季リーグでも活躍し、遊撃手のベストナインを獲得しました。本学での活躍が

評価され、2010年のドラフト会議で中日ドラゴンズから4位指名（1位指名は大野雄大投手）され入団しました。中日ドラゴンズ(2011～2014年)在籍後、阪神タイガース(2015～2019年)、埼玉西武ライオンズ(2020年)の3球団に在籍し、一貫して堅実な守備力が高い評価を受け、10年もの長きにわたり活躍しました。自由契約から合同トライアウトを経て2度契約した選手は、現在のところ森越氏だけで、苦労人としての一面もあります。本学では野手の総合コーチを務めることとなりますが、チームは2018年秋季1部リーグで10回目の優勝の後、あと一步にとどまっていますので、山内壮馬ヘッドコーチ（35）（元中日ドラゴンズ）との指導体制の充実により、一気に優勝への期待が高まります。



#### 森越祐人コーチの抱負

私がプロ野球の世界で10年間プレーできたのは、本学で学んだことと経験があればこそと、今でもとても感謝しています。このたび、コーチをやらせていただく機会を得て恩返しできると意欲に燃えています。縁あってプロ3球団にお世話になりました。その経験を生かし、基本や準備、そして何より取り組み姿勢の大切さを伝えながら成長を支え、リーグ優勝、ひいては全国制覇できるように頑張っていきたい。

#### 安江均監督の話

森越氏に本学コーチを引き受けていただけたことにとっても感謝しています。森越氏の栄光と苦悩の経験や貫いてきた野球に対する姿勢を前面に出した育成指導が、学生の大きな成長の力強い支援となると確信し期待しています。山内コーチとの連携も密に全体の底上げを図り、指導体制を整えていただいた本学の期待にもリーグ優勝をもって応えたい。